

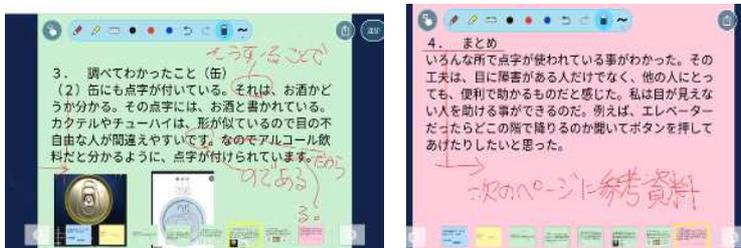
【題材名】第5学年国語科「みんなが過ごしやすい町へ」

【内容】ロイロノートを使用し作成した報告文を、教師とやり取りし、文章を推敲する。

【使用アプリ】ロイロノート

【事例紹介】

過ごしやすい町作りのための工夫を見つけ、インターネット等を利用し、調べる。調べたことを項目ごとにシートに文章でまとめる。完成したら、教師に提出し、添削を受ける。教師は、朱書き等で添削し、返却する。質問がある児童は、直接教師から指導を受ける。



写真などの参考資料は、次のページに入ると分かりやすいね。



【解説】

ロイロノートの提出、返却の機能を利用すると、文章の推敲がスムーズにできた。その子の進度に合わせて、報告文の添削を返却することができ、個別最適化した学びとなった。仕上がりがきれいで、文章を書くことが苦手な児童も取り組みやすかった。

【題材名】全学年ドリル学習

【内容】eライブラリで、学習の振り返りを学校や家で書き込み教師がアドバイスする。

【使用アプリ】eライブラリ

【事例紹介】

eライブラリでのドリル学習の振り返りや普段の学習、生活の振り返りをコミュニケーション機能を使って教師に送る。家庭から送る児童もあり、学校で言いにくかったことも相談できる機会となっている。



【解説】

eライブラリでドリル学習を積み上げるだけでなく、教師と児童のコミュニケーションツールとしても利用できる。学習での質問はもちろん、友達関係も含め生活上の相談も個別にすることができ、信頼関係の構築につながった。

(教育委員会主幹講評)「個別最適化した学び」の報告事例です。ロイロノートは朱書きで添削できる機能があり、有効に活用されています。文字を書くことが苦手だった児童も「積極的に文章を書くようになった」成果が報告されています。ぜひカラー印刷をして掲示してください。eライブラリのコミュニケーションツール機能もうまく活用され、一人一人のつまずきに寄り添えています。更なる活用をお願いします。